令和６(2024)年度
日本体育大学大学院　体育学研究科
体育学専攻　博士前期課程
学生募集要項

本研究科では令和５（2023）年度に実施する入学試験からインターネット出願（以下、Web 出願という。）を開始します。出願前には、マイページ登録が必要です。時間には余裕を持って出願を行ってください。

なお、Web 出願時に登録されたメールアドレスには、大学から入学試験に関する重要なお知らせが配信されますので、変更や削除の可能性がなく、日常的に確認できるメールアドレスを準備してください。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や試験実施内容等に変更が生じる場合があります。

試験実施に関する変更等については、本学のホームページにより周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

その他の入試に関する最新情報についても公表しますので、随時確認してください。

目　次

Ⅰ．体育学専攻　博士前期課程３つのポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Ⅱ．受験要領
１．専攻・学位プログラム募集人員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
２．出願資格・・7
３．学位プログラム及びコース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
４．入学試験日程等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
５．選抜区分及び出願要件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　　出願資格認定審査について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
６．出願書類・・・12
　　在留外国人の方・外国の学校出身の方へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
７．出願手続・・・15
８．障がいのある入学志願者の事前相談について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
９．受験票について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
10．選抜要領・・16
11．受験上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
12．合格発表・・17
13．入学手続・・18
14．学　　費・・19

Ⅲ．2024 年度　研究指導科目担当者及び研究指導領域・・・・・・・・・・・・・・・・・・（巻末 1~13）
【博士前期課程】研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）・・・・・・・・・・・・（巻末 14～15）

Web 出願の流れ、出願写真に関する注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別添１）

《各種様式・所定用紙等》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別添２）
博士前期課程提出用紙
「履歴書（所定用紙 1)」、「志望理由書（所定用紙 2)」、「承諾書（所定用紙３)」、「在職証明書（所定用紙４)」、
「研究計画書（様式１)」、「競技実績概要書（所定用紙５)」、「競技指導歴概要書（所定用紙６)」、
「外国人入学願書（所定用紙７)」、「入学試験に係る事前相談について（所定用紙８)」
出願資格認定審査提出用紙
「出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査（博士前期課程）所定用紙１)、「申請理由等概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）所定用紙 2-1、2-2)」、「職歴調書（出願資格認定審査（博士前期課程）所定用紙３)」、「研究歴概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）様式 A)」、「指導歴概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）様式 B)」、「競技歴概要書(出願資格認定審査（博士前期課程)様式 C)」

Ⅰ．体育学専攻　博士前期課程３つのポリシー

１．入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

(1)　体育科学学位プログラム

体育スポーツ科学に関する基礎的知識があり、体育スポーツ分野の指導者･研究者、啓発者等を目指す者で、将来国内外において積極的に体育スポーツに携わるとともに、独創的あるいは卓越した体育スポーツ科学あるいはその指導を実施するという意欲と能力をもつ者。なお、基礎英語力を有していることが望ましい。

(2)　体育実践学学位プログラム

体育学に関する基礎的知識があり、体育スポーツ分野の指導者、政策立案者等を目指す者で、将来国内外において積極的に体育スポーツに携わるとともに、独創的で卓越した体育スポーツの指導を実施するという意欲と能力をもつ者。なお、体育スポーツの指導者あるいは政策立案者としての経験を 2 年以上有し、「実践課題学期小論文」作成に対応できる現場を有していることが望ましい。

(3)　コーチング科学学位プログラム

体育スポーツ科学に関する基礎的知識があり、体育スポーツ分野の指導者･研究者、啓発者等を目指す者で、将来国内外において積極的に体育スポーツに携わるとともに、独創的なコーチングや卓越したコーチングを実施する Scholastic Coach として活動していく意欲と能力をもつ者。なお、基礎英語力を有していることが望ましい。

(4)　コーチング実践学学位プログラム

体育スポーツ科学に関する基礎的知識があり、体育スポーツ分野の指導者･研究者、啓発者等を目指す者で、将来国内外において積極的に体育スポーツに携わるとともに、独創的なコーチングや卓越したコーチングを実施する Scholastic Coach として活動していく意欲と能力をもつ者。

専門学位を志望するものは、①１年以上の体育スポーツの指導経験があり、②「実践課題学期小論文」の作成に対応できる指導現場を有する、③高度な競技力を有することが望ましい。

２．修了認定・学位に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

(1)　体育科学学位プログラム

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学し、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、修士論文の審査および試験に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに修士（体育科学）の学位を授与する。

体育スポーツ科学に関する幅広い学識
体育スポーツ科学に関する高度な専門的知識
体育スポーツの指導者としての基礎的能力
体育スポーツ科学の発展に寄与する研究者としての基礎力
国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

《養成される人材》
高度な指導能力を有する指導者、中学校・高等学校教員
スポーツ・武道・舞踊に関する高度な能力を有する中学校・高等学校教員
スポーツマネジメントに係わる高度職業人
体育・健康・スポーツに関する基礎的知識をもった高度職業人、ジャーナリストなど
体育スポーツ科学の研究者

(2)　体育実践学学位プログラム

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学した上で、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、「実践課題学期小論文」の審査に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに修士（体

育実践学）の学位を授与する。

体育学に関する幅広い学識と研究基礎力
体育スポーツの指導者あるいはスポーツマネジメント実践者としての高度な専門的知識
体育スポーツの指導者あるいはスポーツマネジメント実践者としての実践力
国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

《養成される人材》
高度な指導能力を有する中学校・高等学校教諭、養護教諭
スポーツマネジメントに係わる高度職業人
体育・健康・スポーツに関する専門的知識を有する高度職業人、ジャーナリストなど

(3) コーチング科学学位プログラム

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学し、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、修士論文の審査および試験に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに修士（コーチング科学）の学位を授与する。

体育スポーツ科学に関する幅広い学識
コーチング学に関する学識と専門的知識
コーチおよびコーチ育成者としての基礎的能力
体育スポーツ科学の発展に寄与する研究者としての基礎力
国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

《養成される人材》
高度なコーチング能力やマネジメント能力を有するスポーツ指導者
スポーツ・武道・舞踊に関する高度なコーチング能力を有する教員
競技スポーツに関する高度職業人、ジャーナリスト
コーチ育成者（Coach developer）
コーチング学の研究者

(4) コーチング実践学学位プログラム

本学大学院学則に規定する所定の年限以上在学し、本学の教育研究の理念と目的に沿って設定した所定の単位を修得し、実践課題学期小論文の審査に合格した上で、次の能力を有することが認定されたものに修士（コーチング実践学）の学位を授与する。

体育学に関する幅広い学識と研究基礎力
コーチング実践に関する専門的知識と技能
コーチおよびコーチ育成者としての基礎的能力
国際社会に貢献する意志とコミュニケーション力

《養成される人材》
高度なコーチング能力やマネジメント能力を有するスポーツコーチ・指導者
中学校・高等学校教員
競技スポーツに関する高度職業人、ジャーナリスト
コーチ育成者（Coach developer）

３．教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

(1) 体育科学学位プログラム

本専攻の人材養成目的を達成するため、以下のような教育課程を編成し実施する。

① 体育学研究科共通科目（必修、10 単位）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識を身につける。特に体育スポーツ科学研究法では、統計学の基礎、各分野の研究法概論、研究倫理について学ぶ。研究報告演習では、自身の研究内

容を他コースの院生にも理解できるように発表する能力、他分野の研究を理解しディスカッションできる能力などを身につける。

② 基礎科目（選択必修、6 単位）：各コース（体育スポーツ文化社会学、スポーツマネジメント、トレーニング科学、健康スポーツ医科学、身体教育・健康教育）の学識と専門的知識、研究法を学び、基礎的能力を身につける。

③ 他コースを含む展開科目（選択、10 単位以上）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識と専門的知識を広げる（横の発展）、あるいは後期課程に進学を希望する場合は専攻コース（学領域）の専門性をより高める（縦の発展）。

④ 研究指導科目（必修、4 単位）：研究テーマに特化した研究法、学会や学術誌への発表方法などを学び、修士論文の作成に向けた研究指導を受ける。

(2) 体育実践学学位プログラム

本専攻の人材養成目的を達成するため、以下のような教育課程を編成し実施する。

① 体育学研究科共通科目（必修、10 単位）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識を身につける。特に体育スポーツ科学研究法では、統計学の基礎、各分野の研究法概論、研究倫理について学ぶ。研究報告演習では、自身の研究内容を他コースの院生にも理解できるように発表する能力、他分野の研究を理解しディスカッションできる能力などを身につける。

② 基礎科目（選択必修、6 単位）：スポーツマネジメントコースあるいは身体教育・健康教育学コースの学識と専門的知識、研究法を学び、基礎的能力を身につける。

③ 他コースを含む展開科目（選択、10 単位以上）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識と専門的知識を広げる（横の発展）、あるいはスポーツマネジメント、身体教育・健康教育学に関するより高度な知識や能力を身につける（縦の発展）。

④ 研究指導科目（必修、4 単位）：上述した科目を履修するとともに、修士論文に代えて、指導現場における政策や実践に関する報告等を「実践課題学期小論文」としてまとめて発表し、審査を受けるとともに、学会や学術誌への発表方法などについても学ぶ。なお、「実践課題学期小論文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の審査は原則として、Ⅰは 1 年次後学期、Ⅱは 2 年次前学期、Ⅲは 2 年次後学期の学期末に行う。

(3) コーチング科学学位プログラム

本専攻の人材養成目的を達成するため、以下のような教育課程を編成し実施する。

① 体育学研究科共通科目（必修、10 単位）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識を身につける。特に体育スポーツ科学研究法では、統計学の基礎、各分野の研究法概論、研究倫理について学ぶ。研究報告演習では、自身の研究内容を他コースの院生にも理解できるように発表する能力、他分野の研究を理解しディスカッションできる能力などを身につける。

② 基礎科目（選択必修、8 単位）：コーチングに関する学識と専門的知識、コーチング学の研究法を学び、コーチおよびコーチ育成者としての基礎的能力を身につける。

③ 他コースを含む展開科目（選択、8 単位以上）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識と専門的知識を広げる（横の発展）、あるいはコーチング学に関するより高度な知識やコーチ育成に関する能力を身につける（縦の発展）。

④ 研究指導科目（必修、4 単位）：研究テーマに特化した研究法、学会や学術誌への発表法などを学び、修士論文の作成に向けた研究指導を受ける。

(4) コーチング実践学学位プログラム

本専攻の人材養成目的を達成するため、以下のような教育課程を編成し実施する。

① 体育学研究科共通科目（必修、10 単位）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識を身につける。特に体育スポーツ科学研究法では、統計学の基礎、各分野の研究法概論、研究倫理について学ぶ。研究報告演習では、自身の研究内容を他コースの院生にも理解できるように発表する能力、他分野の研究を理解しディスカッションできる能力などを身につける。

② 基礎科目（選択必修、8 単位）：コーチングに関する学識と専門的知識、コーチング学の研究法を学び、コーチおよびコーチ育成者としての基礎的能力を身につける。

③ 他コースを含む展開科目（選択、8 単位以上）：体育スポーツ科学に関する幅広い学識と専門的知識を広げる（横の発展）、あるいはコーチング学に関するより高度な知識やコーチ育成に関する能力を身につける（縦の発展）。

④　研究指導科目（必修、4 単位）：上述した科目を履修するとともに、修士論文に代えて、指導現場におけるコーチング実践報告や指導法（コーチング法）試案等を「実践課題学期小論文Ⅰ・Ⅱ･Ⅲ」にまとめて発表し、審査を受ける。なお、審査は原則として、Ⅰは 1 年次後学期、Ⅱは 2 年次前学期、Ⅲは 2 年次後学期の学期末に行う。

４．学位プログラム別課程修了の要件・取得学位

(1)　体育科学学位プログラム、コーチング科学学位プログラム

2 年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を 30 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

学位プログラム	取得学位
体育科学学位プログラム	修士（体育科学）
コーチング科学学位プログラム	修士（コーチング科学）

(2)　体育実践学学位プログラム、コーチング実践学学位プログラム

2 年以上在学し、各学位プログラムが定める修了に必要な授業科目を 30 単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士論文に代わる実践の場における課題についての研究成果「実践課題学期小論文Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の審査に合格すること。

学位プログラム	取得学位
体育実践学学位プログラム	修士（体育実践学）
コーチング実践学学位プログラム	修士（コーチング実践学）

５．取得可能な免許状

当大学院を修了した者は、当大学院入学時に取得している免許状に応じて、下記の専修免許状を取得することが可能です。

① 中学校教諭専修免許状（保健体育）
② 高等学校教諭専修免許状（保健体育）
③ 養護教諭専修免許状

Ⅱ．受験要領

１．専攻・学位プログラム募集人員

<table>
<tr><th>専攻</th><th>学位プログラム</th><th>募集人員</th><th>専攻定員</th></tr>
<tr><td rowspan="4">体育学専攻</td><td>体育科学学位プログラム</td><td rowspan="2">25 名
（Ⅰ期、Ⅱ期募集合せて）</td><td rowspan="4">37 名</td></tr>
<tr><td>体育実践学学位プログラム</td></tr>
<tr><td>コーチング科学学位プログラム</td><td rowspan="2">12 名
（Ⅰ期、Ⅱ期募集合せて）</td></tr>
<tr><td>コーチング実践学学位プログラム</td></tr>
</table>

２．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

（１）大学を卒業した者又は令和 6（2024）年 3 月 31 日までに卒業見込みの者

（２）大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は令和 6（2024）年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者

（３）外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 6（2024）年 3 月 31 日までに修了見込みの者

（４）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は令和 6（2024）年 3 月 31 日までに修了見込みの者

（５）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和 6（2024）年 3 月 31 日までに修了見込みの者

（６）専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和 6（2024）年 3 月 31 日までに修了見込みの者

（７）文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号)

（８）令和 6（2024）年 3 月末日で大学に 3 年以上在学し、優れた成績で所定の単位を修得したものと、本大学院が認めた者

（９）本大学院において行う個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者で、入学時までに 22 歳に達する者

※重要

出願資格(8)（9）の該当者は、事前に出願資格審査が必要です。11 頁で確認し手続きをしてください。出願資格審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された者は本研究科の入学試験に出願することができます。

３．学位プログラム及びコース

学位プログラム	コース	学位プログラム・コース記号
（体科） 体育科学学位プログラム	体育スポーツ文化社会学コース	（体科・スポ文社）
	スポーツマネジメントコース	（体科・スポマネ）
	トレーニング科学コース	（体科・トレ科学）
	健康スポーツ医科学コース	（体科・健康医科）
	身体教育・健康教育コース	（体科・身体健康）
（体実） 体育実践学学位プログラム	スポーツマネジメントコース	（体実・スポマネ）
	身体教育・健康教育コース	（体実・身体健康）
（コ科学） コーチング科学学位プログラム		（コ科学）
（コ実践） コーチング実践学学位プログラム		（コ実践）

４．入学試験日程等

出　願　期　間 （Web 出願登録、 出願書類受付期間）	Ⅰ期試験	Ⅱ期試験
	2023 年 10 月 17 日(火) ～2023 年 10 月 24 日(火)	2024 年 1 月 12 日(金) ～2024 年 1 月 19 日(金)
試　　験　　日	2023 年 11 月 18 日(土)	2024 年 2 月 17 日(土)
合 格 発 表 日	2023 年 11 月 24 日(金)	2024 年 2 月 22 日(木)
入学手続締切日	2023 年 12 月 8 日(金)	2024 年 3 月 8 日(金)

５．選抜区分及び出願要件

選抜区分	対象学位プログラム・コース	出願要件
一般選抜	（全学位プログラム）	「２.出願資格」に該当する者
スポーツ選抜	（体科・スポ文社） （体科・スポマネ） （体科・トレ科学） （体科・健康医科） （体実・スポマネ） （コ科学） （コ実践）	「２.出願資格」に該当し、次の①、②のいずれかに該当する者 ①競技実績で出願する者 別表Ａの出願基準を満たしている者 但し、年齢制限のあるユース大会等の場合、大会出場時の年齢が満 18 歳以上であったこと ②指導実績で出願する者 ※（コ科学）（コ実践）のみ対象となります。 別表Ａ内の大会に該当する運動競技の指導歴を有する者 但し、学生コーチは除く
社会人選抜	（体科） （体実）	「２.出願資格(1)～(7)」に該当し、次の①、②のいずれかに該当する者 ①入学時にまでに常勤・非常勤を問わず１年以上の社会的経験（企業・官公庁・教育関係機関等での就業。家事従事等の経験を含む。)を有する者(見込み含む) ②別表Ｂに該当する JICA が行う海外協力隊事業の隊員として体育・スポーツの指導に関わる社会貢献活動の経験を入学時に原則として１年以上を有する者 ※注意：本研究科の授業は通常の時間割編成であり、社会人専用の時間割編成はしていません。
	（コ科学） （コ実践）	「２.出願資格」に該当し、次の①、②のいずれかに該当する者 ①入学時までに常勤・非常勤を問わず１年以上の社会的経験(企業・官公庁・教育関係機関等での就業。家事従事等の経験を含む。)を有する者(見込み含む) ②別表Ｂに該当する JICA が行う海外協力隊事業の隊員として体育・スポーツの指導に関わる社会貢献活動の経験を入学時に原則として１年以上を有する者 ※注意：本研究科の授業は通常の時間割編成であり、社会人専用の時間割編成はしていません。
外国人選抜	（全学位プログラム）	わが国における「留学」の在留資格を有する者又は本研究科入学までに資格を取得する予定の者で「２.出願資格(3)、(4)、(5)」のいずれかに該当し、日本国籍を有しない者 ※注意：入学試験ならびに本研究科の授業は、原則日本語で行います。

※出願資格(8)、(9)の該当者は、事前に出願資格審査の申請をして、審査の結果、出願資格が認定された場合に一般選抜で出願することができます。

別表 A

大会	成績基準
(a)夏季・冬季オリンピック大会 (b)夏季・冬季パラリンピック大会 (c)ワールドカップ大会(シニア大会) (d)世界選手権大会(シニア大会)	いずれかの大会において、国を代表する正規選手として出場実績のある者
(e)ユニバーシアード競技大会 (f)FISU ワールドユニバーシティゲームズ （※旧ユニバーシアード競技大会) (g)ワールドカップ大会(年齢制限あり) (h)世界選手権大会(年齢制限あり) (i)アジア競技大会	いずれかの大会において、国を代表する正規選手として出場し、8 位入賞以上の競技実績をもつ者
日本選手権大会	正規選手※1 として出場し、8 位入賞以上の競技実績をもつ者
日本学生(大学)選手権大会	正規選手※1 として出場し、4 位入賞以上の競技実績をもつ者
各種競技大学リーグ	正規選手※1 として出場し、優勝または準優勝の競技実績をもつ者、または主催する団体から個人に与えられる表彰を得た者
各種プロスポーツ	国内外において開催されたプロスポーツのリーグ等で、出場実績のある者

※1「正規選手」とは、成績基準を満たした大会に出場したレギュラー選手であり、補欠(サブ)選手は含まれない。
※(重要)　別表 A に記載された内容は、スポーツ選抜区分の出願資格に関する基準であり、合否基準ではありません。

別表 B

（1）青年海外協力隊　（2）日系社会青年協力隊　（3）シニア海外協力隊　（4）日系社会シニア協力隊

≪出願資格認定審査について≫

本大学院研究科では、「学校教育施行規則第 155 条第 1 項第 8 号の規定」により、前記「出願資格（8)、(9)」に該当する出願資格認定対象となる方について、出願資格の有無を判定するために予備審査を行います。

「出願資格認定審査」は、入学者選抜試験ではありませんので注意してください。

１）．出願資格認定審査の対象となる者

①「 2. 出願資格（8)」で出願資格認定審査の対象となる場合

前記「2. 出願資格（8)」に記載された条件を満たしている者

②「 2. 出願資格（9)」で出願資格認定審査の対象となる場合

以下のいずれかに該当する者

(1) 高等学校を卒業した者

(2) 短期大学を卒業した者

(3) 高等専門学校を卒業した者

(4) 専門学校を修了した者で、次の基準を満たす者

A. 修業年限が 2 年以上で、かつ修了に必要な総授業時数が 1700 時間（62 単位）以上課程を修了した者

B. 学校教育法に規定する大学入学資格（高等学校卒業など）を有する者

(5) 各種学校を卒業した者

２）．出願資格認定審査が不要な者

①「2. 出願資格（1） から（7)」に該当する者

※（6）に該当する方（注）の場合、文部科学省 WEB サイトで公開されている「文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧」に掲載されている学校を、同表が課程ごとに示す「文部科学大臣が定める日」以後に修了している場合に限り入学資格審査は不要です。

（注）・高度専門士の保持者　・修業年限が 4 年以上　・総授業時間数が 3,400 時間（124 単位）以上

３）．出願資格認定審査要領

審査を希望する方は、必ず大学院教学センターまで事前相談を済ませた上で申請願います。

出願資格認定審査には、下記書類の提出が必要になります。提出期限等を確認の上、お早目にご準備ください。

事前相談を済ませていない場合は申請できません。また、上記条件を満たした方すべてに受験資格が認められるとは限りませんので注意してください。

※出願資格認定審査に提出した書類内容に虚偽が発生した場合は、入学試験に合格した場合でも合格の取り消しとなりますので注意願います。

・提出書類　※は必要に応じて提出

出願資格（8）

① 出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査（博士前期課程）　所定用紙 1）

② 申請理由等概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）　所定用紙 2-1・2-2）

③ 卒業(見込)証明書(最終学歴のもの)

④ 学業成績証明書

⑤ 受験承諾書（学長又は学部長が発行するもの：様式任意）

⑥ 研究歴概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）様式 A）※

出願資格（9）

① 出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査（博士前期課程）所定用紙 1）

② 申請理由等概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）所定用紙 2-1・2-2）

③ 卒業（見込）証明書（最終学歴のもの）

④ 学業成績証明書（最終学歴のもの）

⑤ 職歴調書（出願資格認定審査（博士前期課程）所定用紙 3）※

⑥ 研究歴概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）様式 A）※

⑦ 指導歴概要書（出願資格認定審査(博士前期課程)様式 B）※
⑧ 競技実績概要書（出願資格認定審査（博士前期課程）様式 C）※

・提出方法
封筒に、「出願資格認定審査書類在中」と朱書きし、必ず「**速達・特定記録**」扱いで必要な書類を郵送してください。
（「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。）

・送付先　〒158-8508　東京都世田谷区深沢７－１－１　日本体育大学 大学院教学センター

・書類提出期限（郵送のみ）
Ⅰ期試験：2023 年 10 月 3 日（火）必着
Ⅱ期試験：2023 年 12 月 13 日（水）必着

・審査結果　審査結果はⅠ期：2023 年 10 月中旬、Ⅱ期：2023 年 12 月中旬に電話連絡にて結果をお知らせします。

６．出願書類

●：全員提出　△：該当者のみ提出

（注意：提出書類について）
① Web 出願以外の所定用紙は、別添《各種様式・所定用紙等》から、A4 サイズで片面印刷してください。PC で入力したものも可。
② 自身で作成する所定用紙以外の書類は全て「A4 サイズ：片面印刷」で提出してください。

出願書類	連絡事項・注意事項	提出該当者 一般選抜	スポーツ選抜	社会人選抜	外国人選抜
(1)志願票・写真票	Web 出願完了後、Web 出願サイトより印刷してください。 余白および志願票・写真票は切り離してください。	●	●	●	●
(2)履歴書（所定用紙 1）	「学歴」欄は高等学校から記入してください。但し、外国の学校教育を受けたことがある者は小学校から記入してください。 大学、研究所等で研究生等として研究歴がある場合は、その期間も記入してください。「職歴」欄は勤務していた全ての職を年月順に記入してください。社会貢献活動の経験はこの欄に記入してください。	●	●	●	●
(3)志望理由書 （所定用紙 2）	必ず希望する研究指導教員と履修・研究等について相談し、指導の同意を得てください。 ・「2024 年度研究指導科目担当者及び研究指導領域」、「研究指導教員一覧表」参照。	●	●	●	●
(4)学業成績証明書	出身大学長が作成し、厳封したもの。	●	●	●	●
(5)卒業(見込)証明書	出身大学長が作成し、厳封したもの。 ※出願資格に関わるもの	●	●	●	●
(6)承諾書（所定用紙 3）	入学後に在職予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。	△	△	△	△
(7)在職証明書または 派遣証明書（所定用紙 4）	○全学位プログラム 【社会人選抜】で出願する者 出願要件を満たすことを証明できる在職証明書また			●	

※所定用紙と同内容であれば、所属機関が発行したものでも可。	は派遣証明書を提出ください。但し、ご事情により在職証明書が提出できない場合は、第3者の証明による書面等をご提出頂くことでも構いません。在職証明書以外の第3者の証明による書面は、例えばハローワークで発行される雇用保険受給資格者証や、勤務先における健康保険証に記載の雇用開始日（資格取得年月日）により期間を確認することができますので、こちらのコピーを在職証明書の代わりに提出することも可能とします。				
(8)研究計画書 （様式１）	和文2,000字程度、A4用紙片面使用、枚数制限なし。	●	●	●	●
(9)競技実績概要書 (所定用紙5)	○全学位プログラム 【スポーツ選抜：競技実績】で出願する者 ※競技実績を立証できる書類も提出すること		△ ※		
(10)競技指導歴概要書 (所定用紙6)	○コーチング科学学位プログラム、または コーチング実践学学位プログラム 【スポーツ選抜：指導実績】で出願する者 ※指導歴を立証できる書類も提出すること		△ ※		
	○全学位プログラム 【社会人選抜：②の該当者】で出願する者 ※指導歴を立証できる書類も提出すること			△ ※	
(11)外国籍を有する者の出願書類(所定用紙７)	外国籍を有する者は、出願書類の他に、以下の書類を提出してください。 現に日本国内に在住し、在留資格が「特別永住者」、「永住者」の者は①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書のみ提出。 ①住民票の写しまたは住民票記載事項証明書（3か月以内に発行されたもので、国籍、在留資格、在留期間を明記したもの） ②在留カードの写し ③外国人入学願書（所定用紙７） ④日本語能力を証明する書類 日本留学試験（EJU）の成績証明書(日本語科目の読解、聴解・聴読解240 点以上、記述30点以上)、または日本語能力試験（JLPT）N2 以上の合格証明書 ⑤パスポートの氏名・生年月日が記載されたページのコピー（海外在住者） ※日本語能力試験（JLPT）の合格証明書は、令和6年度入学試験までの取扱い(提出可能書類)とします。令和7年度入学試験からは日本留学試験（EJU）の成績証明書を、日本語能力を証明する書類として提出いただきます。	△	△	△	●

在留外国人の方・外国の学校出身の方へ

★ 在留外国人の方は、必ず確認してください。

最終学歴の各種証明書について

日本国外（中国を除く）の大学・大学院を卒業・修了した方

卒業・修了証明書等に取得学位の記載がない場合には、学位取得証明書も提出してください。

中国の学校を卒業または修了した方は、「中国の学校を卒業・修了された方へ」に記載されている通りに書類を提出してください。

最終学歴の各種証明書は、原則として日本語または英語で表記された原本に限ります。

日本語または英語以外の言語で表記されている場合は以下の書類を提出してください。

各種証明書の原本※	出身学校から発行されたもの。 出身学校から 1 部しか発行されない場合は、公的機関が発行する Certified true copy でも構いません。
日本語または英語翻訳文※	大使館や自国公証処等の公的機関で認証を受けたものに限る。

※日本語教育機関（日本語学校等）が発行・認証するものは認めません。

中国の学校を卒業・修了された方へ

中国の学校を卒業・修了された方は、以下の書類を提出してください。

証明書類の入手に時間を要することが想定されます（申請から発行まで 5 週間程度かかる場合もあります）ので、早めに準備をしてください。

（1）卒業証書・卒業証明書「学歴認証書」(Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

（2）成績証明書 「成績認証書」(Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

※1 Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript を提出する場合は下記の注意事項をよく読んで手続きしてください。

（3）学位取得証明書「学位認証書」(Verification Report of China Higher Education Degree Certificate)

CHSI（中国高等教育学生信息網）が発行し、英文で記載されたもの。

博士前期課程を受験する方は、学士学位（Bachelor's Degree)、博士後期課程を受験する方は、修士学位（Master's Degrees）を取得していることが証明されていること。

※ 1 Online Verification Report of China Higher Education Degree Certificate を提出する場合は下記の注意をよく読んで手続きしてください。

学歴、成績、学位の認証書は CHSI 中国高等教育学生信息網（ https://www.chsi.com.cn/en/pvr/ ）が取り扱っています。日本国内では CHSI 日本代理機構（ http://www.chsi.jp/ ）での発行申請が可能です。

※ 1 電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内に CSSD 教育部学生服务与素质发展中心から直接、日本体育大学大学院教学センター（ daigakuin@nittai.ac.jp ）に電子メールで送信されるように申請してください。

志願者による電子メールの転送は出願書類として認めません。出願期間を過ぎた場合は出願を受理しないことがありますので、気をつけて手続きしてください。

７．出願手続

「Web 出願の流れ」を確認して手続きしてください。出願は Web 出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送して完了となります。登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

Web 出願は 24 時間可能です。ただし、出願登録は出願締切日 23 時まで、入学検定料の支払いは出願締切日まで（営業時間はコンビニエンスストアや ATM など、施設によって異なります)、必要書類の郵送は出願期間内消印有効です。

（１）入学検定料の支払い

入学検定料：１受験につき３５，０００円

Web 出願サイト「STEP 5 （入学検定料の支払い)」に従って支払手続きをしてください。

（２）必要書類の郵送

Web 出願完了後に、Web 出願サイトより宛名シートを印刷し、貼付した角 2 封筒に提出書類を封入して、「速達･特定記録」扱いで郵送してください。なお、窓口出願は行っておりません。(「特定記録郵便物等受領証」を保管しておいてください。）詳細については、「STEP 6 （必要書類の郵送)」を確認すること。

①志願票・写真票（所定用紙）

入学検定料支払後、出力可能となります。A4 サイズで印刷し、切り取り線に沿って切り取ってください。

②選抜毎の提出書類

詳細は、各選抜の提出書類を確認してください。

◎注意事項

① 不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。

② 一度提出した出願書類及び支払われた入学検定料は一切返還しません。

【入学検定料の返還請求（払込手数料を除く）ができる場合】

・入学検定料を支払ったが、本学に出願書類を発送しなかった。または出願書類が受理されなかった。

・入学検定料を誤って二重に支払った。

③ 提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。

８．障がいのある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する方で、障がいのために受験上の配慮を必要とする方は、出願の前に、必ず事前相談をしてください。出願の際には下記の書類が必要となりますので、予めご了承願います。なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

1．「入学試験に係る事前相談について」【必須】（所定用紙８）

2．医師の診断書【必須】（コピー可・書式自由）

3．身体障害者手帳（写）【必須】

4．その他相談する際に必要と考えられる参考資料

９．受験票について

出願書類到着後、Web 出願の登録内容をもとに本学が作成し、Web 出願サイトよりダウンロードできる状態にしますので、必ず印刷し、試験当日持参してください。(「STEP 7 （受験票の印刷)」を参照）

※ 受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

※ 試験 3 日前までに Web 出願サイト上に受験票が確認できない場合、大学院教学センターまで連絡してください。

１０．選抜要領

合否の基準は、選抜区分ごとに設定されます。

〔試験実施日〕

Ⅰ期試験：2023 年 11 月 18 日（土）　東京・世田谷キャンパス 教育研究棟
Ⅱ期試験：2024 年 2 月 17 日（土）　東京・世田谷キャンパス 教育研究棟

① 体育科学学位プログラム　② 体育実践学学位プログラム
③ コーチング科学学位プログラム　④ コーチング実践学学位プログラム

選抜区分	受付時間	試験時間	試験科目	内容・留意事項等
一　般　選　抜	8:30～9:00	9:30～10:30	専門科目 （60 分）	**（①②両学位プログラム共通）** 出題された 5 問題から 2 問題を解答する。
				（③④両学位プログラム共通） 出題された 2 問題を全問解答する。
		10:50～11:50	英語 （60 分）	**（①②③④全学位プログラム共通）** 英文読解 出題された 3 問を全問解答する。 ※ 語学辞書の使用可(「11．受験上の注意」参照)
		12:10～	口述試験	**（①②両学位プログラム共通）** 1）コース毎に実施する。 2）卒業論文及び研究計画を中心に日本語で行う。
				（③④両学位プログラム共通） 卒業論文及び研究計画を中心に日本語で行う。
スポーツ選抜 社会人選抜	8:30～9:00	9:30～10:30	専門科目 （60 分）	一般選抜に同じ
		10:50～	口述試験	一般選抜に同じ
外 国 人 選 抜	8:30～9:00	9:30～10:30	専門科目 （60 分）	一般選抜に同じ ※ 解答は日本語に限る
		10:50～	口述試験	**（①②両学位プログラム共通）** 1)専門分野 卒業論文及び研究計画を中心に 原則日本語で行う。 2)日本語能力 出願コースに関する基本的な内容に沿って日本語で口頭試問を行う。 **（③④両学位プログラム共通）** 1)専門分野 卒業論文及び研究計画を中心に 原則日本語で行う。 2)日本語能力 コーチングに関する基本的な内容に沿って日本語で口頭試問を行う。

１１．受験上の注意

（１）試験当日の注意事項

① 持参するものについて
「受験票」、「筆記用具」、「時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く)」、「昼食・飲み物」（任意）
※受験票を紛失または忘れた場合は、試験当日、受付に申し出てください。

② 受付で受験票を提示してください。受付後は、速やかに指定された試験場へ入室してください。また、受付後に担当者の許可無くキャンパス内を出歩くことはできません。なお、試験終了までキャンパス内から出ることはできません。

③ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験場に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切り、すべての試験が終了するまでかばん等にしまってください。これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為となることがあります。

④ 車での来校はできません。公共交通機関をご利用ください。
試験前日までに可能な限り試験場までの道順、所要時間等を実際に確認しておいてください。

⑤ 試験開始後 30 分を超えた遅刻は認めません。

⑥ 公共交通機関の事故等により、受付時間に間に合わない場合は、直ちに大学院教学センター（03-5706-0915）へ連絡するとともに、交通機関において遅延証明書の交付を受けてください。

インフルエンザ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験生に感染するおそれがあるため受験はできません。

（２）試験時間中の注意事項

①「受験票」は、試験担当者が見やすいように机上に置いてください。

②「受験票」の他に試験時間中、机上に置けるものは、以下とします。

- 黒鉛筆（HB)、シャープペンシル（HB）
- 鉛筆キャップ
- プラスチック製消しゴム
- 鉛筆削り（電動式・ナイフ類を除く）
- 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものを除く）
- 眼鏡
- ハンカチ
- ティッシュペーパー（袋または箱から取り出した紙のみであること）
- 目薬

※ 英語試験時に限り、語学辞書の使用が可能です。なお、英語試験時に使用可能な辞書とは、「英和辞書」、「中日辞書」、「韓日辞書」等の語学辞書に限ります。電子辞書、電子手帳等は使用できません。また、医学等専門用語の語学辞書は使用できません。（付箋等は予め取り除いてください。）

③「耳せん」は、試験担当者の指示等が聞き取れないことがありますので、試験場内では使用できません。

④ 試験時間中に退室はできません。体調不良またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験担当者の指示に従ってください。但し、一時退室が認められた場合でも、一時退室した間の試験時間の延長はできません。また、別室での受験もできません。

⑤ 試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為となることがあります。

１２．合格発表

∘Ⅰ期試験（11 月実施）：2023 年 11 月 24 日（金）10 時

∘Ⅱ期試験（ 2 月実施）：2024 年　2 月 22 日（木）10 時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受け付けませんので下記照会方法をご確認ください。

（１）利用方法・注意点

① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。

② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。

③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間をおいてアクセスしてください。

④ 合否照会システムの利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間		
Ⅰ期試験	2023 年 11 月 24 日（金）～ 2023 年 11 月 26 日（日）	初日 10：00 ～
Ⅱ期試験	2024 年 2 月 22 日（木）～ 2024 年 2 月 24 日（土）	最終日 23：59 まで

（２）インターネット（携帯電話・パソコン）での照会

https://www.gouhi.com/nittai/

合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。
また、本学ホームページ（https://www.nittai.ac.jp/）より、上記アドレスへアクセスできますのでご利用ください。

１３．入学手続

（１）入学手続時納入金の手続締切日

Ⅰ期試験：2023 年 12 月 8 日（金）

Ⅱ期試験：2024 年 3 月 8 日（金）

① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続を行ってください。

② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。

③ 振込金受領書（本人保存）は、入学手続をした証明になりますので大切に保管してください。

（２）入学辞退について

【窓口】 2024 年 3 月 29 日（金） 17：00 まで

【郵送】 2024 年 3 月 31 日（日） 消印有効（速達・簡易書留としてください。）

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届（所定用紙）を提出してください。
入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

○提出先：日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7－1－1

TEL 03-5706-0915

事務取扱時間：平日 8:30 ～ 17:00

冬季一斉休業期間：2023 年 12 月 28 日（木）～ 2024 年 1 月 5 日（金）

１４．学　　費

授業料は全額の 1/2 相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学手続時の納入金額は、入学金・授業料（前学期分納分）・健康管理費・学友会費・同窓会準会員費の合計金額となります。後学期は授業料（後学期分納分）のみとなります。

2024 年度 日本体育大学大学院体育学研究科　博士前期課程学費等一覧　（円）

費　目		納入期		金　額	
				日本体育大学以外の卒業生	日本体育大学卒業生
①学　費	入学金	入学期のみ		300,000	150,000
	授業料	分納可	前学期	369,000	369,000
			後学期	369,000	369,000
	健康管理費	前学期		10,000	10,000
②その他費用	学友会費	前学期		13,000 （入会金 1,000 円を含む）	12,000
	同窓会 準会員費	入学時のみ		10,000	0
総合計（①+②）		年　額		1,071,000	910,000
		分納の場合	前学期	702,000	541,000
			後学期	369,000	369,000

※ 令和６年度からの奨学金制度の改正（「大学院（修士課程）の授業料後払い制度」の創設）があります。
「高等教育の修学支援新制度」の対象者で上記制度の利用を希望する方は、事前に大学院教学センターまでお問い合わせください。

《寄付金について》

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。
但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」（教育貸し付け）について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和 54 年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫（日本公庫）が扱っています。
詳しくは教育ローンコールセンター 0570-008656（03-5321-8656）、または「国の教育ローン」で検索、https://www.jfc.go.jp/から「国の教育ローン」を選択してください。

2024 年度　研究指導科目担当者及び研究指導領域

（研究指導担当教員の表記内容）	
☆☆　博士前期課程　研究指導教員	主査を担当することができる
☆　博士前期課程　研究指導補助教員	主査を担当できないが、研究指導できる

【注意事項】

出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員、または研究指導補助教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願する事がないようにして下さい。

教員検索 （大学 HP 教員情報データベース）		研究者検索 （国立研究開発法人科学技術振興機構）	

【博士前期課程】

■体育学専攻

― 体育科学学位プログラム、体育実践学学位プログラム ―　（コース毎・50 音順）

（体育スポーツ文化社会学コース）

☆☆ 教授　**石井　隆憲** 博士（社会学）	研究分野：社会科学、総合人文社会 研究内容のキーワード:スポーツ人類学、民族スポーツ、伝統スポーツ、東南アジア、ミャンマー、チンロン、伝承、科学人類学 スポーツ人類学 スポーツ人類学は地球上のさまざまな社会において実践されているスポーツ的活動を参与観察などの緻密なフィールドワークによって研究していく学問です。研究領域は多岐にわたりますが、具体的にいくつかの研究領域を以下に紹介しておきます。 ① スポーツ活動を実践する人々の研究 ◦身体技法研究 ◦ライフヒストリー研究 ◦エスノサイエンス研究　など ② スポーツ活動を支える人々や組織の研究 ◦スポーツ組織や社会組織の研究 ◦ネットワーク研究 ◦スポーツ用具に関する研究　など ③ スポーツの観光化の研究 ④ スポーツの開発・援助の研究 ⑤ スポーツ科学の人類学
☆☆ 教授　**荻　　浩三** 修士（体育学）	研究分野：スポーツ史 研究内容のキーワード：スポーツ史、体育史、スポーツ地理学 「スポーツ史」 ① 一般研究領域（一般史） 「スポーツ通史」「世界スポーツ史」「時代別スポーツ史」「地域別スポーツ史」、など ② 個別研究領域（特殊史） 「スポーツ競技種目史」「スポーツ思想・人物史」「スポーツ教育史」「スポーツ産業史」「スポーツ形態史」「スポーツ学説史」「スポーツ施設・用具史」「スポーツ技術史」、など

☆☆ 准教授　**佐野　昌行** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ社会科学 研究内容のキーワード：スポーツ経営学、スポーツマネジメント、スポーツビジネス スポーツ文化の視点から、スポーツのマネジメント、スポーツの経営、またスポーツ経営学の概念や学説史について研究します。 以下のような様々な主体による「スポーツ（事業）のマネジメント」が研究対象として考えられます。 ・地域スポーツクラブ　・スポーツ施設　・プロスポーツクラブ　・プロスポーツ選手　・スポーツイベント　・スポーツ団体（競技団体、競技の普及を含む）　・スポーツ関連企業　・大学スポーツ　など
☆☆ 教授　**関根　正美** 博士（体育科学）	研究分野：体育・スポーツ哲学 研究内容のキーワード：体育・スポーツ哲学 スポーツ哲学、体育哲学、スポーツ倫理学 ① オリンピックの思想　② スポーツ指導者論　③ スポーツと暴力　④ スポーツ美学論、舞踊論　⑤ ドーピング、フェアプレイ　⑥ 科学技術とスポーツなど。
☆☆ 教授　**波多腰　克晃** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ哲学、体育哲学、スポーツ倫理 研究内容のキーワード：体育・スポーツ思想・哲学、スポーツと共同体 体育・スポーツにおける共同体の形成について研究しています。 ドイツのスポーツクラブ研究、スポーツの文化研究、スポーツと大衆化論、スポーツと暴力、オリンピックの思想、ドイツ体操・スポーツの思想など。
☆☆ 教授　**依田　充代** 博士（スポーツ健康科学）	研究分野：体育・スポーツ社会学 研究内容のキーワード：体育・スポーツ社会学 スポーツ社会学 スポーツ社会学はスポーツと社会の関わりを追及する学問です。また、スポーツの社会学的現象を明らかにし、そこに起きる問題の解決をめざした研究を展開する学問でもあります。研究領域は多岐にわたりますが、具体的にいくつかの研究領域を以下に紹介しておきます。 ① スポーツ社会学の内容と方法　② スポーツと薬物　③ スポーツと暴力　④ 社会規範とスポーツ　⑤ スポーツと政治　⑥ スポーツと経済　⑦ スポーツと環境　⑧ スポーツとマスメディア　⑨ 学社融合　⑩ スポーツ・ボランティア　⑪ スポーツ情報学　⑫ 地域スポーツ　など

（スポーツマネジメントコース）

☆☆ 教授　**齊藤　隆志** 体育学修士	研究分野：スポーツマネジメント 研究内容のキーワード：みるスポーツ、ファシリティマネジメント、イベントマネジメント スポーツマネジメント、スポーツ経営学 ① みるスポーツの研究（スポーツコンテンツプロデュース、観戦サービス、プロスポーツ経営） ② スポーツファシリティマネジメント（スタジアム・アリーナ運営、商業スポーツ施設） ③ スポーツマーケティング（スポーツ消費者行動、スポーツプロダクト、ブランディング）など
☆☆ 准教授　**齋藤　義信** 博士（健康マネジメント学）	研究分野：スポーツ・身体活動の疫学、ヘルスプロモーション、健康スポーツマネジメント 研究内容のキーワード：身体活動、疫学、公衆衛生、健康づくり、健康行動理論、エコロジカルモデル、システムズ・アプローチ、普及と実装科学 スポーツや身体活動を通じたヘルスプロモーションを計画・実践・評価・改善し、社会に普及・実装する「健康スポーツマネジメント」について研究します。主な研究テーマは以下の通りです。 ① 安全で効果的なスポーツ・身体活動についての疫学研究 ② 公衆衛生やヘルスプロモーションの観点から、スポーツ・身体活動を普及推進するための研究

☆☆ 准教授　**佐野　昌行** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ社会科学
	研究内容のキーワード：スポーツマネジメント、スポーツマーケティング
	次のような様々な主体にかかわるマネジメントやマーケティングについて、量的調査や質的調査を用いて研究します。 ・スポーツイベント　・大学スポーツ　・スポーツ団体　・スポーツ生活者（実施者・観戦者・管理運営者・スタッフ・ボランティア等）
☆☆ 教授　**日比野　幹生** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ政策学、スポーツ行政学、スポーツマネジメント
	研究内容のキーワード：スポーツ政策、スポーツ行政、スポーツマネジメント
	スポーツ政策学、スポーツマネジメント 主な研究指導領域 ① エリートスポーツ、② スポーツ参加促進、③ アンチ・ドーピング、④ スポーツ産業、⑤ 地域スポーツ、⑥ 国際スポーツ、⑦ オリンピック、⑧ スポーツガバナンス、⑨ スポーツ団体　など
☆ 准教授　**横田　匡俊** 修士（教育学）	研究分野：スポーツマネジメント
	研究内容のキーワード:地域活性化、まちづくり、地域経済循環、スポーツ産業、スポーツビジネス、市場分析
	研究領域は、主に以下の二つです。 ① スポーツを活かしたまちづくり、地域活性化：地域にあるスポーツ資源を活用して、まちづくりや地域活性化をどのように推進するかを研究します。 ② スポーツ産業･スポーツビジネスに関する市場動向:社会の動向、人々の志向性、政策動向等によって、スポーツ産業やスポーツビジネスがどのように変化していくのかについて研究します。

（トレーニング科学コース）

☆☆ 教授　**大石　健二** 博士（体育科学）	研究分野：疫学（運動疫学）、スポーツパフォーマンス分析
	研究内容のキーワード:疫学（運動疫学）、子ども、幼児、家庭環境、社会環境、生活習慣、運動習慣、体力、運動能力、健康、身体活動量、身体活動強度、スポーツパフォーマンス分析、ゲームパフォーマンス分析、Sports Analytics、戦術、戦略、統計学、確率論、評価項目（測定項目）の検討と開発、分析方法の検討と開発
	主な研究テーマは、「スポーツパフォーマンス分析・ゲームパフォーマンス分析」と「子ども（主に幼児）を対象とした疫学研究」の2つになります。両研究領域共に数値データを用い、統計学や確率論を基礎とした研究となります。 ①「スポーツパフォーマンス分析・ゲームパフォーマンス分析」 生体ウエラブルディバイスや小型ビデオカメラの普及により、選手個人の移動（距離・速度）データや心拍数データに加え、パスやシュート等のスポーツパフォーマンスを簡便に数値化することが可能となりました。そのため、GPSデータや画像データを用いスポーツを数値化し、勝敗と関連がある項目の検討や今後の試合予測が研究テーマとなります。これらの研究結果から、対象チームのトレーニング内容（課題）を考えます。現在、研究対象とするスポーツ種目の制限を設けてはいませんが、サッカー、ハンドボール、バレーボールなど球技種目を主としています。 ②「子ども（主に幼児）を対象とした疫学研究」 子どもの体力･運動能力または健康状態と生活習慣や生活環境との関連性について研究します。具体的には、幼児の25m走、立ち幅とび、テニスボール投げ等の記録や運動の好き・嫌い、風邪や怪我の頻度をアウトカムとし、家庭環境（家族構成・住宅様式等）、生活習慣（起床時刻・習い事等）、施設内環境（保育所や幼稚園・学校間等）、地域間（都市部・農村部等）との関連性について疫学手法を用い検討する研究となります。また、子ども達の日常における身体活動強度や身体活動量を定量化することも研究テーマとしています。現在は、継続測定を実施し体力･運動能力の変化量（率）をアウトカムにした研究を実施しています。これらの研究結果から二極化が懸念されている子ども達の体力・運動能力向上の方策を考えます。

☆☆ 准教授　**大塚　光雄** 博士（スポーツ科学）	研究分野：スポーツバイオメカニクス
	研究内容のキーワード：キネマティクス（運動学）、キネティクス（動力学）、競技力向上、運動技能
	科学的なアプローチによって、アスリートにおける競技力向上や運動初心者における運動技能の改善をねらいます。現在、主に以下の2つのテーマに取り組んでいます。 ① 高度なデバイス（光学式ハイスピードカメラ、地面反力計、慣性センサーなど）を用いた横断的・縦断的なスポーツ動作の測定・評価 ② 大衆化されたデバイス（スマートフォン、スマートウォッチなど）を用いた運動技能の測定・評価方法の開発 フィールドから実験室まで様々な場所で測定を行い、国際大会で優勝する選手から運動嫌いな子どもまで幅広い運動パフォーマンスの分析を行っています。世界中の研究機関とのネットワークを活用しながら、前例にとらわれずに、スポーツ科学、社会に貢献することを目指しています。
☆☆ 教授　**岡本　孝信** 博士（人間科学）	研究分野：運動生理学、スポーツ生理学
	研究内容のキーワード：スポーツパフォーマンス、コンディショニング、トレーニング、競技力向上、リカバリー
	運動・スポーツ生理学を基盤として、効果的な運動トレーニング法の開発やアスリートの競技力向上とコンディショニングに資する実践的な研究を行います。スポーツ現場の疑問を科学で解明し、その結果をトレーニングやコンディショニングの実践に還元することを目指します。 主な研究テーマは以下の通りです。 ① 心血管系機能を指標としたコンディショニング法の開発 ② 運動・栄養・休養のタイミングがスポーツパフォーマンスに及ぼす影響 ③ トレーニング効果を高めるポリフェノール摂取法の検討 ④ パフォーマンス向上を目指した機能性食品（クレアチン、グリコーゲンなど）の効果的なローディング法の開発 ⑤ 戦略的リカバリー法の構築
☆☆ 准教授　**菊池　直樹** 博士（体育科学）	研究分野：トレーニング科学、スポーツ遺伝学
	研究内容のキーワード：ストレングス＆コンディショニング、遺伝子多型、筋力、パワー、競技パフォーマンス、トレーニング
	アスリートの遺伝的特性に関わる研究およびストレングス＆コンディショニングに関わる研究を行う。トレーニングによる身体反応や損傷に対するリスクの個人差を解明することで、個人対応型のトレーニングおよびコンディショニング方法の確立を目指す。さらに、遺伝特性がアスリートのパフォーマンスやトレーニング効果に与える影響について、コンソーシアムを結成し国際共同研究を進める。
☆ 准教授　**河野　徳良** Athletic Training M.S.	研究分野：アスレティックトレーニング
	研究内容のキーワード：アスレティックトレーニング、コンディショニング、スポーツ外傷・障害の予防
	アスレティックトレーナーの学問的・職業的領域であるアスレティックトレーニングは、トレーニング、スポーツ生理、バイオメカニクス、スポーツ心理、アスレティックリハビリテーション、そしてスポーツ外傷・障害の予防などアスリートのコンディショニングに関連する領域の包括的領域である。 したがって、各領域を基礎としアスリートのパフォーマンス向上に関連した研究が中心となる。
☆☆ 教授　**杉田　正明** 博士（学術）	研究分野：トレーニング科学、体力科学
	研究内容のキーワード:競技力向上、トレーニング科学、体力科学、コンディショニング、パフォーマンス分析
	運動パフォーマンスを高めるトレーニングやコンディショニングに役立つ実践的なスポーツ科学的研究を行っている。 ① スポーツ科学的手法を用いた競技スポーツ選手の競技力向上及び科学的支援に関する研究 ② 競技スポーツ選手を対象としたコンディショニングに関する研究 ③ 体力科学的見地からのトレーニング方法（含・高地トレーニング、低酸素トレーニング）に関する研究 ④ 競技選手のパフォーマンス分析に関する研究

☆☆ 教授　**須永　美歌子** 博士（医学）	研究分野：運動生理学、トレーニング科学
	研究内容のキーワード:月経周期、女性アスリート、コンディショニング、性差、エネルギー代謝（糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝）
	健康なからだを維持しながらパフォーマンスを向上させるためには、戦略的にトレーニングプログラムを構築し、コンディショニング方策を立てる必要があります。本研究室では、ヒトを対象にトレーニングや栄養摂取などの条件の違いが運動パフォーマンスやトレーニング効果に与える影響について運動生理学的手法を用いて分析し、スポーツ現場に還元することを目指して研究に取り組んでいます。 特に性差や月経周期の影響に着目し、以下のような研究を行っています。 ① 月経周期を考慮したコンディショニング法の開発 ② 女性の形態的・生理的特性を考慮したトレーニングプログラムの検討 ③「女性アスリートの三主徴」の予防・改善に関する研究
☆☆ 准教授　**髙井　秀明** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ心理学
	研究内容のキーワード：競技スポーツ、アスリート、ストレス、情報処理過程、心臓自律神経活動
	スポーツ心理学に関する基礎的研究を進めており、ヒトの身体活動に伴う情報処理過程や心臓自律神経活動を中心に検討しています。特に、競技スポーツにおけるストレス状況下でのアスリートの心理・生理的反応について明らかにすることを研究課題としています。
☆☆ 教授　**西山　哲成** 博士（医学）	研究分野：トレーニング科学、バイオメカニクス
	研究内容のキーワード：パフォーマンス向上、バイオメカニクス、生理学、技術・体力評価、科学サポート、自転車競技
	① スポーツパフォーマンスを高めるための技術、体力評価、およびそのトレーニング、コーチング方法に関する研究を扱う。 ② バイオメカニクス、および生理学的手法による科学サポート、指導に役立つ基礎的・実践的研究を対象とする。 ③ 指導またはサポート対象となる集団、または個人のパフォーマンス向上をスポーツ医科学の観点から総合的にコーディネートする感性を育む。
☆☆ 教授　**黄　　仁官** 博士（体育科学）	研究分野：トレーニング科学、体力学、運動処方
	研究内容のキーワード:トレーニング科学、競技力向上サポート、運動処方と運動療法、加齢･老化、スポーツ遺伝子
	研究のキーワードは、① アスリートの競技力向上に及ぼす体力の影響、② 高齢者の介護予防を目的とした体力、③ 子どもの発育・発達と体力との関連を柱に調査・測定・評価し、その問題点と改善策について検討します。

（健康スポーツ医科学コース）

☆☆ 教授　**岡田　　隆** 博士（体育科学）	研究分野：トレーニング科学、アスレティックリハビリテーション、スポーツ整形外科学
	研究内容のキーワード：筋力トレーニング、筋肥大、減量、スポーツ外傷・障害、動的関節制御、腰痛、椎間板変性、体幹筋、ボディビル、柔道、コリジョンスポーツ
	トレーニング科学領域 ① 限局的な対象筋に効果的なトレーニングフォームの開発 ② 対象筋の筋活動を増強する内部意識集中を利用したトレーニング方法の開発 ③ 体幹深部筋のトレーニング方法の開発 ④ 効果的な体脂肪の除去方法（除脂肪）の開発　など アスレティックリハビリテーション、スポーツ整形外科学領域 ① 腰痛 ② 頸部痛 ③ 椎間板変性（腰部、頸部） ④ 主動筋と拮抗筋による関節の動的制御　など

☆☆ 教授　**岡本　孝信** 博士（人間科学）	研究分野：運動生理学、健康生理学、健康運動学、健康増進学
	研究内容のキーワード：総合型生活習慣病予防、サクセスフルエイジング、健康寿命、動脈硬化、血管内皮機能、認知症、サルコペニア、ヘルスプロモーション
	若年者から高齢者に至る全ての年代が生涯健康であることを目的に、心血管疾患、介護および認知症を総合的に予防する“総合型生活習慣病予防”を目指した研究を推進します。 主な研究テーマは以下の通りです。 ① 総合型生活習慣病予防を目指したレジスタンス運動および有酸素運動法の開発 ② 健康増進効果を高めるポリフェノール摂取法の検討 ③ 骨格筋電気刺激トレーニングの健康増進効果の解明 ④ 筋、呼吸循環および認知機能の改善に向けた健康増進プログラムの開発 ⑤ 体力、呼吸循環および認知機能の加齢変化の関連探索
☆☆ 准教授　**城所　哲宏** 博士（教育学）	研究分野：発育発達学、運動疫学、公衆衛生学
	研究内容のキーワード：子ども、身体活動、座位活動、体力、生活習慣病、国際共同研究
	子どもを対象に、身体活動を通じた体力向上および生活習慣病予防に関する研究をしています。国内および海外における大規模コホート研究のデータを活用し、疫学的な手法を用いて研究を進めています。主な研究テーマは以下の通りです。 ① 子どもにおける早期生活習慣病予防に関する研究 ② 子どもの身体活動・体力に関する国際共同研究 ③ 身体活動を促進させる環境づくりに関する研究
☆☆ 教授　**木村　直人** 博士（体育科学） 博士（医学）	研究分野：健康科学、衛生学公衆衛生学
	研究内容のキーワード：エネルギー代謝、健康管理、ストックウオーキング
	人の健康の保持・増進、体力の向上に関わる運動・栄養・休養（休息）など、「運動に関わる健康管理（予防医学）」が指導の中心となります。① 環境因子（暑熱、寒冷など）、② 骨格筋のエネルギー代謝、③ 生化学（血液、尿）、④ 生体負担（筋疲労等）などと健康や競技力の向上との関連について検討します。
☆☆ 助教　**鴻﨑　香里奈** 博士（体育科学）	研究分野：運動生理学、スポーツ医学、栄養学
	研究内容のキーワード：筋損傷、筋肥大、末梢神経損傷、サルコペニア、神経筋接合部、筋電気刺激、栄養介入、ケトジェニックダイエット、スポーツ損傷、伸張性収縮、肉離れ、がん悪液質、筋ジストロフィー、代謝、実験動物
	スポーツ損傷、加齢現象、疾患などの様々な要因が運動器の機能や構造へ及ぼす影響について検証をおこないます。実験動物（ラット・マウス）や培養細胞を用いた基礎研究、およびヒトを対象とした臨床研究の両方に対応可能です。実験動物や培養細胞による研究では、様々な実験手法の習得およびそれらを用いた実験研究を展開します。ヒトを対象とした研究においても、実験や測定に必要な手法の習得およびそれらを用いた介入実験や調査研究を展開します。 研究テーマについては事前に相談した上で決定しますが、現在進行中のテーマは下記の通りです。 ・ 短期間の継続的なケトジェニックダイエットが運動器の機能および構造、全身代謝へもたらす影響を検証する ・ 筋ジストロフィーモデルマウスにおける神経・筋機能と構造異常を検証する ・ 運動誘発性筋損傷による神経損傷の作用機序を解明する ・ 培養筋細胞における特定遺伝子の発現変動が筋タンパク質代謝や構造へもたらす影響を検証する ・ がん悪液質モデル動物における神経の機能・構造変化を検証する 研究によって得られる成果は、幅広い年代を対象とした健康増進、およびスポーツ現場へ積極的に応用することを目指します。
☆☆ 教授　**小林　正利** 修士（体育学） 博士（医学）	研究分野：顕微解剖学、健康教育学
	研究内容のキーワード：骨格筋の組織化学、健康教育学、運動と糖、乳酸代謝
	健康維持・増進に関わる因子や環境について探索し検討しています。 ① 骨格筋の再生過程に関わる細胞の組織化学的検討 ② 運動と健康関連機能の検討

☆☆ 准教授　**三瓶　舞紀子** 修士（看護学） 修士（公衆衛生） 博士（医学）	研究分野：社会疫学、精神保健、インターコンセプション 研究内容のキーワード：社会疫学、健康の社会的決定要因、相対的格差、マルチレベル、精神・母子保健、動機づけ面接、インターコンセプション 家族、地域社会など心理社会的環境がこどもや若年世代の心身の健康に与える影響やメカニズムや介入方法、妊娠前からの若年世代への早期介入の意義等について検討します。また、疫学や統計学の基礎を学びます。 ① 新型コロナウイルス感染症流行による子どもの食生活変化とその社会経済的要因及び行政連携の仕組み解明のための研究 ② 月経/基礎体温管理アプリを用いた女性のリプロダクティブヘルスとこころの健康及び社会的リスク要因に関する研究 ③ 娠・周産期に異常があった産後女性の医療従事者からのインターコンセプションケアの認識と健康行動の実態に関する研究 ④ インターコンセプションケアの行動的リスクに関するアプリを用いた教育プログラムの開発
☆☆ 教授　**須永　美歌子** 博士（医学）	研究分野：運動生理学、トレーニング科学 研究内容のキーワード：月経周期、女性アスリート、コンディショニング、性差、エネルギー代謝（糖代謝、脂質代謝、アミノ酸代謝） 健康なからだを維持しながらパフォーマンスを向上させるためには、戦略的にトレーニングプログラムを構築し、コンディショニング方策を立てる必要があります。本研究室では、ヒトを対象にトレーニングや栄養摂取などの条件の違いが運動パフォーマンスやトレーニング効果に与える影響について運動生理学的手法を用いて分析し、スポーツ現場に還元することを目指して研究に取り組んでいます。 特に性差や月経周期の影響に着目し、以下のような研究を行っています。 ① 月経周期を考慮したコンディショニング法の開発 ② 女性の形態的・生理的特性を考慮したトレーニングプログラムの検討 ③「女性アスリートの三主徴」の予防・改善に関する研究
☆☆ 教授　**田中　信行** 博士（学術）	研究分野：社会疫学、測定評価、福祉リハビリテーション 研究内容のキーワード：アダプテッド・フィジカル・アクティビティー（アダプテッド・スポーツ）、インクルーシブ体育、福祉リハビリテーション ① アダプテッドスポーツ（障がい者、高齢者等の身体活動） ② インクルーシブ体育 ③ 福祉リハビリテーション
☆☆ 准教授　**田村　優樹** 博士（学術）	研究分野：分子運動生理学、分子運動代謝学 研究内容のキーワード：骨格筋、脂肪、メカノバイオロジー、ミトコンドリア、リソソーム、温熱刺激、サルコペニア、廃用性筋萎縮、トレーニング、リハビリテーション 効果的なトレーニングやリハビリテーションの創出を見据え、分子生物学の手法を用いた基礎研究を実施しています。現在実施している研究課題は次の通りですが、大学院生自身の関心に基づく研究計画の提案も歓迎します。 ① 運動や不活動、老化、疾患などに伴う「細胞/ 器官/ 個体の適応」と「分子メカニズム」の解明 ② 物理療法の「生物医学的根拠の構築」と「新規適応症の探索」 ③ 新規栄養素材の「探索・有効性検証」と「トレーニング/ リハビリテーションへの応用」
☆☆ 教授　**津山　　薫** 博士（体育科学）	研究分野：発育発達 研究内容のキーワード：子ども、中高齢者、アスリート、運動能力、トレーニング ① 身体運動や生活習慣が体力に及ぼす影響　② 子どもの体力と運動との関係　③ 中高齢者の体力と運動との関係、などがおもな研究指導領域です。

☆☆ 教授　**中里　浩一** 博士（学術）	研究分野：スポーツ生理・生化学、基礎スポーツ医学 研究内容のキーワード：加齢、筋損傷、筋肥大、筋萎縮、動物・細胞モデル、遺伝子多型、筋タンパク質合成、筋タンパク質分解、細胞外マトリックス 力学的刺激を含む幅広い外的因子への筋骨格系組織（骨格筋、腱、靭帯など）の生理・生化学的応答あるいは適応を分子・細胞・組織レベルで検討していくことを主なテーマとします。スポーツ生理、トレーニング方法、スポーツ損傷、スポーツ医学など応用的な展開を常に意識して研究を進めていきます。特に分子レベルでの検討を中心とすることおよび自分自身で手を動かしてデータを出してもらうことを求めますので、本研究室を希望する学生は相当の時間と労力を使う覚悟が必要です。その代わり得られるものも十分にあると思います。具体的なテーマは以下のとおりです。 ① 実験モデル（動物・細胞）を用いた筋損傷発生および修復過程の分子メカニズムの解析 ② 実験モデル（動物・細胞）を用いた随意あるいは不随意での筋力トレーニングに対する骨格筋適応の分子メカニズムの解析 ③ 加齢あるいは全身炎症に伴う骨格筋萎縮のメカニズム解明とその克服 ④ ヒト遺伝子構造の多型性が筋骨格系組織に与える影響の基礎的検討
☆☆ 教授　**成田　和穂** 博士（医学）	研究分野：スポーツ医学内科系、予防医学 研究内容のキーワード：運動習慣、運動療法、身体活動量、アンチ・ドーピング ① 運動習慣と疾患・症状の関係 ② 運動・スポーツの身体活動量 ③ 生活習慣病の運動療法 ④ 高・低酸素環境における身体活動 ⑤ アンチ・ドーピング教育
☆☆ 教授　**平沼　憲治** 博士（医学）	研究分野：医歯薬学 研究内容のキーワード：スポーツ損傷、予防医学、リハビリテーション スポーツが、人間の身体に与える影響をスポーツ医学（スポーツ整形外科学）の基礎と臨床の両面から研究する。各院生の専門性に応じて、スポーツ外傷・障害の予防・診断法・治療法について取り組んでいく。最新のエコー・MRI・X 線検査を利用し、スポーツ外傷・障害の危険因子を発見し予防に繋げること、新しい診断法、より良い治療法を発見・開発する。 ① スポーツ外傷・障害の予防に関する研究（遺伝子、身体特性、競技特性との関連） ② スポーツ外傷・障害の新しい診断法・評価法の発見・開発 ③ スポーツ外傷・障害のより良い治療法の開発（理学療法、リハビリテーション）「スポーツ現場、医療機関では解決のつかない問題を大学院生とともに答えを出していきたいと思う。」

（身体教育・健康教育コース）

☆☆ 准教授　**市川　優一郎** 博士（心理学）	研究分野：教育心理学、健康心理学、生理心理学 研究内容のキーワード：不安、ストレス、感情、態度、生理的反応、発達障害 心理学の立場から、心と身体の関連を実証的に研究し、その成果を教育や健康に応用する。調査ならびに実験により測定した　① 心理的反応、② 行動的反応、③ 生理的反応を分析し、仮説検証していく。
☆☆ 教授　**岡出　美則** 博士（教育学）	研究分野：体育科教育学、スポーツ教育学 研究内容のキーワード：カリキュラム論、学習指導論、教師教育論 体育授業の研究対象である ①カリキュラム論、②学習指導論並びに ③教師教育論に関連した研究を進めていきます。カリキュラム論では、カリキュラムの国際比較やカリキュラム評価が、学習指導論では学習指導論の効果検証が、教師教育論では体育教師の成長を促す方略の効果検証がテーマの例になります。
☆☆ 教授　**岡本　美和子** 博士（看護学）	研究分野：リプロダクティブヘルス、母子保健 研究内容のキーワード：子育て支援、女性の健康、子どもの保健、児童虐待、リプロダクティブヘルス 主に女性と子どもの健康問題と健康支援が研究の中心となる。 ① ライフサイクルから見た女性の健康課題と健康支援 ② 胎児期・乳幼児期・学童期の子どもの健康と環境 ③ 思春期の健康教育 ④ 女性アスリートに対する子育て支援

☆ 教授　**小泉　和史** 修士（体育科学） 博士（海洋科学）	研究分野：野外教育（海洋）、アクアスポーツ 研究内容のキーワード：スクーバダイビング、水中スポーツ、野外教育 アクアスポーツや野外活動などが研究領域になります。 指導者、教育者などにとっての疑問点から、現場において必要な以下のような研究課題について検討する。 ① スクーバダイビング、スキンダイビング、スノーケリングにおける教育的効果や指導の研究 ② フィンスイミングにおける分析や指導の研究 ③ 水中スポーツ（水中ラグビー、水中ホッケー、フリーダイビング等）の指導および研究 ④ 野外活動における救急法、救助法指導および危険生物の調査などリスク、クライシスマネージメントの研究 ⑤ 野外活動（海洋や山野のキャンプなど全般）と地球環境問題の研究 ⑥ 水を活用するスポーツ（アクアスポーツ）全般と生命教育の研究など多岐の分野が挙げられる。
☆☆ 教授　**近藤　智靖** 博士（体育科学）	研究分野：体育科教育学、スポーツ教育学 研究内容のキーワード：カリキュラム、体育授業研究、教材・教師 ① 体育科のカリキュラム論 ・体育の教育課程における目標に関する研究 ② 体育科の学習指導論 ・体育の教材に関する研究 ・教師行動に関する研究 ③ 体育授業研究 ・体育における学習成果に関する研究 ・児童生徒行動に関する研究
☆☆ 教授　**鹿野　晶子** 修士（教育学） 博士（体育科学）	研究分野：学校保健学、発育発達学 研究内容のキーワード：子どものからだと心、養護教諭 子どものからだと心、それを支える養護教諭をテーマとし、日常的には、子どものからだと心に関する学校教育現場等での野外調査に従事しながら研究をすすめている。 主な研究領域は　① 養護教諭の職務と養護活動、保健室の機能　② 学校保健　③ 子どものからだと心の健康課題全般とする。
☆☆ 教授　**白旗　和也** 修士（教育学）	研究分野：スポーツ教育学、教師教育学 研究内容のキーワード：学習指導要領に基づく体育科・保健体育科の授業づくり、教師の効力感を高めるためのコンサルテーション、幼児期・児童期における動きの獲得、開発途上国における体育支援 学習指導要領に基づき、すべての児童生徒に豊かなスポーツライフを実現するための方策について、幼児、児童、生徒の立場から、または教師の立場から学校現場の実情に応じた研究を推進する。 ① 学習指導要領に基づいたカリキュラム論、学習指導論 ② 教師効力感に基づいた教師教育論、コンサルテーション方略 ③ 幼児期運動指針に基づいた幼児の運動遊びと動きの獲得 ④ 開発途上国における体育支援の方法
☆☆ 教授　**鈴川　一宏** 博士（医学） 博士（体育科学）	研究分野：ヘルスプロモーション、公衆衛生学 研究内容のキーワード：子ども、生活習慣、運動習慣、行動体力、防衛体力、免疫、疲労、メンタルヘルス、ヘルスプロモーション、健康教育、学校保健 保健体育教諭や養護教諭が取り組むべき、子ども（児童生徒）における規則正しい生活習慣、体育・スポーツや運動習慣の必要性、学校現場における保健活動、ヘルスプロモーションに関する研究等を研究指導領域とします。そのため、児童生徒を対象として、生活習慣や運動習慣、防衛体力（健康感、免疫能、メンタルヘルスなど）について調査を行い、以下について研究を行っていきます。 ① 児童生徒の生活習慣、運動習慣に関する研究 ② 児童生徒の行動体力と防衛体力に関する研究 ③ 児童生徒の健康管理・健康教育・健康対策に関する研究 ④ 児童生徒のストレスや疲労に関する研究 ⑤ 学校保健とヘルスプロモーションに関する研究 ⑥ 学校における保健活動および環境に関する研究 ⑦ 児童生徒と教員のメンタルヘルスに関する研究 ⑧ スポーツ・運動部活動と防衛体力に関する研究

☆☆ 教授　**田中　信行** 博士（学術）	研究分野：アダプテッド・スポーツ 研究内容のキーワード：アダプテッド・フィジカル・アクティビティー（アダプテッド・スポーツ）、インクルーシブ体育、福祉リハビリテーション ① アダプテッドスポーツ（障がい者、高齢者等の身体活動） ② インクルーシブ体育 ③ 福祉リハビリテーション
☆ 教授　**津田　博子** 体育学修士	研究分野：舞踊学・舞踊教育学 研究内容のキーワード：舞踊・教育・ダンス教材・イメージ・伝統芸能舞踊の歴史 舞踊に関する教育学的研究 身体表現系方法学的研究 身体表現やダンスを用いた教育学的活動の効果に関する研究 比較舞踊の研究　等
☆☆ 助教　**寺岡　英晋** 博士（教育学）	研究分野：スポーツ教育学 研究内容のキーワード：カリキュラム、教師行動、学習成果、評価、教師教育、国際協力、卓球 学校体育・スポーツ活動が多様な教育課題の解決にどのように貢献できるかを探求することを主なテーマとしています。具体的には、以下のようなテーマが研究指導領域になります。 ① カリキュラムのディスコース分析と国際比較 ② 教師行動の測定と評価 ③ 児童生徒の社会・情意領域の学習成果を生み出すメカニズムの解明 ④ 教師の資質向上を図る教育プログラムの開発と評価 ⑤ スポーツ教育学における混合研究法のパラダイム 上記以外でも、教育学的研究で関連するキーワードに該当するテーマも歓迎します。
☆☆ 教授　**野井　真吾** 博士（体育科学）	研究分野：教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学 研究内容のキーワード：教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学、子どものからだ、子どもの体力、子どもの健康 キーワードは、「子ども」「からだ」「心」「体力」「健康」「元気」「生活」。 研究領域は、教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学。具体的には、子どものからだ、心、体力、健康、元気、生活が「どこかおかしい」、「ちょっと気になる」、「なんか心配」といった保育・教育現場の教諭や養護教諭、さらには、子育て中のお母さん、お父さんの“実感”をたよりに、子どものからだにこだわってその“事実”を明らかにし、“実体”を追究する活動（問題を発見するための研究）と、発見された健康課題を改善し、子どもの元気を具現化するための活動（問題を解決するための研究）とに努めている。
☆ 教授　**馬場　進一郎** 体育学修士	研究分野：複合領域 研究内容のキーワード：レクリエーション、ニュースポーツ、ダンススポーツ、野外教育 レクリエーションを単に楽しむための活動としてではなく、学校現場や日常生活との関わりの中で、QOLの向上と自己実現や生きがいをもった生活に結びつけるためのスポ・レクや野外活動による実践的研究を中心に扱う。
体育科学学位プログラム ☆ 体育実践学学位プログラム ☆☆ 教授　**三宅　良輔** 修士（体育学） 博士（医学）	研究分野：複合領域 研究内容のキーワード：体操、体つくり運動、健康運動、運動指導論、成年・老年期の体育 健康づくりを目的とした「体操」の実践的な研究活動を行う。子どもから高齢者までを対象に、それぞれの年齢、体力、健康状態に合わせた健康運動を研究する。 ① 幼児の運動あそび、親子体操の研究 ② 学校体育における「体つくり運動」、「集団演技」に関する教材研究 ③ 成年・老年期の健康づくりのための「体操」に関する研究 ④ 体操指導に関する研究

― コーチング科学学位プログラム、コーチング実践学学位プログラム ―　（50 音順）

☆☆ 教授　**青柳　　徹** 修士（体育学）	研究分野：コーチング学、トレーニング科学 研究内容のキーワード：心・技・体 コーチング・トレーニング・運動学習とパフォーマンスに関する研究 本研究室では、競技力の向上を目的としたトレーニングの体系化および幅広い知識を基に指導を行う実践的な指導者の育成を狙いとする。そして、競技（運動）パフォーマンスはヒトの学習によって生じることを理解して心理学・生理学・バイオメカニクス的な手法を用いた実践的研究を行う。
☆☆ 教授　**伊藤　雅充** 博士（学術）	研究分野：コーチング学、コーチ教育 研究内容のキーワード：アスリートセンタードコーチング、コーチ教育、コーチデベロッパー アスリート・センタード・コーチングをキーワードとして学習者中心の指導のあり方を研究する。研究テーマはコーチングのWHAT（アスリートの競技力向上等）ではなく、コーチングのHOWである。研究手法として質的研究および量的研究、あるいはその両方を組み合わせた混合研究法を採用する。コーチングスキルの向上を目指すコーチは、アクションリサーチを実施することを勧める。
☆☆ 准教授　**岩原　文彦** 博士（体育科学）	研究分野：コーチング学 研究内容のキーワード：コーチング、コーチングスタッフ教育、ハイパフォーマンスコーチング より効果的なコーチングを行うための考え方、パフォーマンス分析等によって得られた科学的データの解釈および活用、トレーニングメニューや年間スケジュールの作成および評価等を中心に検討を行っていきます。学際的な観点からコーチング学を捉え実践的に研究を進めます。
☆☆ 教授　**内山　治樹** 教育学修士 博士（体育科学）	研究分野：コーチング科学、体育・スポーツ哲学 研究内容のキーワード：コーチング、コーチ、競技スポーツ、競技力、競技特性、競技者、チーム、技術、戦術、バスケットボール これまでは、競技スポーツの中でも最も複雑な競技特性を有するバスケットボールを対象に、チームスポーツに固有の技術、戦術、体力、トレーニング法など、競技として成立する上での本質的構成要素について研究を行ってきました。現在は、哲学や現代思想における種々の知見を汎用性を備えた思考のツールとして用いることで、コーチングのメカニズムやコーチの存在理由なども含む、バスケットボールの競技力の形成と向上にかかわる諸要因・諸要素およびそれらの相互規定性を制御する深層の仕組みの解明に取り組んでいます。 過去5年間の主な研究テーマは、以下のとおりです。 ① コーチング科学の学問性について ② スポーツ・コーチングの理念性にかかわる概念とメカニズムの探究 ③ チームスポーツにおける協働行為の指針の探求 ④ チーム・パフォーマンスの生成にかかわる前提要件の検討 ⑤ バスケットボールにおける「ゲームの流れ」と勝敗の因果関係について
☆☆ 教授　**大石　健二** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツパフォーマンス分析、ゲームパフォーマンス分析 研究内容のキーワード：スポーツパフォーマンス分析、ゲームパフォーマンス分析、Sports Analytics、戦術、戦略、統計学、確率論、評価項目（測定項目）の検討と開発、分析方法の検討と開発 主な研究テーマは、「スポーツパフォーマンス分析・ゲームパフォーマンス分析」になります。スポーツを数値化し、統計学や確率論からチームとしての戦術や課題を検討します。 近年、生体ウエラブルディバイスや小型ビデオカメラの普及により、選手個人の移動（距離・速度）データや心拍数データに加え、パスやシュート等のスポーツパフォーマンスを簡便に数値化することが可能となりました。そのため、GPSデータや画像データを用いスポーツを数値化し、勝敗と関連がある項目の検討や今後の試合予測が研究テーマとなります。これらの研究結果から、コーチングに有用な対象チームの戦術や課題を考えます。現在、研究対象とするスポーツ種目の制限を設けてはいませんが、サッカー、ハンドボール、バレーボールなど球技種目を主としています。

☆☆ 教授　**大本　洋嗣** 修士（体育学）	研究分野：コーチング学 研究内容のキーワード：水球、水泳、コーチング アスリートの競技力向上のためにコーチが果たすべき役割についての研究を行う。日々変化する新しいコーチング手法について、競技スポーツ現場において実践的なアプローチと評価を行い理想のコーチングを探る。
☆☆ 教授　**具志堅　幸司** 体育学士	研究分野：器械体操、体操競技、個人競技 研究内容のキーワード：器械運動、体操競技、コーチング アスリートの競技力向上に必要なコーチングや技術的分析さらには実践的なコーチングについての研究を進める。またどのようなタイプの選手でも適宜な指導法を模索し競技力向上に繋げる。
☆ 准教授　**小林　史明** 修士（体育科学）	研究分野：陸上競技 研究内容のキーワード：陸上競技、棒高跳、バイオメカニクス 陸上競技に関わるコーチングおよび競技力向上への体力的、技術的なトレーニング方法の検討、実践研究。
☆☆ 教授　**齋藤　一雄** 体育学修士 博士（医学）	研究分野：複合領域 研究内容のキーワード：技力向上（相撲）、身体組成、筋力 対人競技に関わるコーチングおよび競技力向上への体力的、技術的、心理的なトレーニング方法の検討、実践研究。
☆☆ 准教授　**佐良土　茂樹** 博士（哲学）	研究分野：コーチング学 研究内容のキーワード：コーチング学原論、コーチング哲学、コーチ育成 コーチングはそもそもどのような営みであるのかを考える原論の研究、コーチが持っている哲学についての研究、および、コーチの学びを中心とするコーチ育成やその学びを支援するコーチデベロッパーについての研究を行っています。
☆☆ 教授　**杉田　正明** 博士（学術）	研究分野：コーチング学、トレーニング科学 研究内容のキーワード：スポーツ科学を活用したコーチング、トレーニング科学、体力科学、コンディショニング、パフォーマンス分析 運動パフォーマンスを高めるコーチング、トレーニングに役立つ実践的なスポーツ科学的研究を行っている。 競技力向上に導くコーチングに関するトレーニングやコンディショニングの面や様々な競技選手のパフォーマンス分析や調査を行っている。
☆☆ 准教授　**髙井　秀明** 博士（体育科学）	研究分野：スポーツ心理学 研究内容のキーワード：スポーツメンタルトレーニング、スポーツカウンセリング、リラクセーション アスリートの競技力向上や実力発揮を目指した、スポーツメンタルトレーニングとスポーツカウンセリングに関する実践的研究に取り組んでいます。特に、ストレスの対処方略として活用されている自律訓練法や漸進的弛緩法、バイオフィードバック法などのリラクセーション技法の効果について検討しています。

☆☆ 教授　**南部　さおり** 博士（医学）	研究分野：医学、法学、心理学、社会学、社会科学複合分野
	研究内容のキーワード：児童虐待、体罰、部活動の安全指導、学校事故、少年非行
	スポーツ危機管理学 スポーツにおける安全指導、スポーツ事故の原因分析と再発防止、体罰・パワハラ・暴言指導に関する研究、学校部活動のあり方に関する研究、学校体育における苦手克服・楽しい体育・安全指導、スポーツ指導者の資質向上、スポーツ活動が少年非行と犯罪に及ぼす影響など 学校安全に関する研究 いじめ、ブラック部活動、教員の不適切指導、教育現場でのハラスメント、対教師暴力、不登校問題など 児童虐待、親子関係が子の社会化に及ぼす影響に関する研究
☆☆ 教授　**西山　哲成** 博士（医学）	研究分野：トレーニング科学、バイオメカニクス
	研究内容のキーワード：パフォーマンス向上、バイオメカニクス、生理学、技術・体力評価、科学サポート、自転車競技
	① スポーツパフォーマンスを高めるための技術、体力評価、およびそのトレーニング、コーチング方法に関する研究を扱う。 ② バイオメカニクス、および生理学的手法による科学サポート、指導に役立つ基礎的・実践的研究を対象とする。 ③ 指導またはサポート対象となる集団、または個人のパフォーマンス向上をスポーツ医科学の観点から総合的にコーディネートする感性を育む。
☆ 准教授　**根本　　研** 修士（体育科学）	研究分野：コーチング学
	研究内容のキーワード：コーチング学、チームビルティング、パフォーマンス分析
	より効果的なコーチング実践を探求し、現場で創出した事象を対象にしたコーチングの研究を行う。競技力向上の課題に対して、実際のゲームでのパフォーマンス発揮を考えた実践的な研究課題を見つけ出し、現場に有益なパフォーマンス向上の為のプロセスに向き合い研究を進めていく。 ＜研究課題＞ ① コーチングマネージメントに関する研究 ② チームビジョン・ミッションに関する研究 ③ チームビルディングに関する研究 ④ 戦略・戦術に関する実践研究
☆ 教授　**畠田　好章** 修士（体育学）	研究分野：複合領域
	研究内容のキーワード：器械運動、体操競技、競技力向上
	体操競技における競技力向上のための技術的分析や実践的なコーチング、トレーニング方法について研究を進める
☆ 教授　**山本　洋祐** 博士（医学）	研究分野：対人型スポーツのコーチング
	研究内容のキーワード：対人型スポーツのコーチング（メンタル、体力、技術力、人間力）
	対人型スポーツを中心に競技力、人間力が向上する為のコーチング方法について研究を進める。 ① 対人型スポーツ初心者からトップアスリートまでの範囲において年齢や熟達度に応じた適切なコーチングの研究 ② 対人型スポーツにおけるトップアスリートの特徴や高い国際競技力を獲得するための環境の重要性を学びジュニア期から世界レベルまでの各ステージにおける最適なコーチングの研究

【博士前期課程】研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）

教員資格欄：指導－研究指導教員、（補助）－研究指導補助教員　　市街局番　・東京（03）・横浜（045）

	教員資格	氏　名	フリガナ	所属学位プログラム	東京・世田谷キャンパス	横浜・健志台キャンパス	メールアドレス
あ	指導	青柳　徹	ｱｵﾔﾅｷﾞ ﾄｵﾙ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム		479-6938	aoyanagi@nittai.ac.jp
	指導	石井　隆憲	ｲｼｲ ﾀｶﾉﾘ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-0941	479-8324	t-ishii@nittai.ac.jp
	指導	市川　優一郎	ｲﾁｶﾜ ﾕｳｲﾁﾛｳ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）		963-7947	yichikawa@nittai.ac.jp
	指導	伊藤　雅充	ｲﾄｳ ﾏｻﾐﾂ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0995		itom@nittai.ac.jp
	指導	岩原　文彦	ｲﾜﾊﾗ ﾌﾐﾋｺ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0937		iwahara@nittai.ac.jp
	指導	内山　治樹	ｳﾁﾔﾏ ﾊﾙｷ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0826		uchiyama.h@nittai.ac.jp
	指導	大石　健二	ｵｵｲｼ ｹﾝｼﾞ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-1096		oishi@nittai.ac.jp
	指導	大塚　光雄	ｵｵﾂｶ ﾐﾂｵ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース）		479-7115	otsuka.m@nittai.ac.jp
	指導	大本　洋嗣	ｵｵﾓﾄ ﾖｳｼﾞ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0987	963-7919	omoto@nittai.ac.jp
	指導	岡田　隆	ｵｶﾀﾞ ﾀｶｼ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1024		t-okada@nittai.ac.jp
	指導	岡出　美則	ｵｶﾃﾞ ﾖｼﾉﾘ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0946		okade@nittai.ac.jp
	指導	岡本　孝信	ｵｶﾓﾄ ﾀｶﾉﾌﾞ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） 体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0966		tokamoto@nittai.ac.jp
	指導	岡本　美和子	ｵｶﾓﾄ ﾐﾜｺ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0978		okamotom@nittai.ac.jp
	指導	荻　浩三	ｵｷﾞ ｺｳｿﾞｳ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-1213		k-ogi@nittai.ac.jp
か	指導	菊池　直樹	ｷｸﾁ ﾅｵｷ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース）		963-7944	n.kikuchi@nittai.ac.jp
	指導	城所　哲宏	ｷﾄﾞｺﾛ ﾃﾂﾋﾛ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1426		kidokoro@nittai.ac.jp
	指導	木村　直人	ｷﾑﾗ ﾅｵﾄ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0970	507-7862	kimura@nittai.ac.jp
	指導	鴻﨑　香里奈	ｺｳｻﾞｷ ｶﾘﾅ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）		507-7820	kouzaki@nittai.ac.jp
	（補助）	小泉　和史	ｺｲｽﾞﾐ ｶｽﾞｼ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）		479-6986	koizumi-k@nittai.ac.jp
	（補助）	河野　徳良	ｺｳﾉ ﾄｸﾖｼ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース）		963-7958	t_kono@nittai.ac.jp
	（補助）	小林　史明	ｺﾊﾞﾔｼ ﾌﾐｱｷ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム		963-7924	kobayashi@nittai.ac.jp
	指導	小林　正利	ｺﾊﾞﾔｼ ﾏｻﾄｼ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1251		m-kobayashi@nittai.ac.jp
さ	指導	齋藤　一雄	ｻｲﾄｳ ｶｽﾞｵ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-1246		ksaito@nittai.ac.jp
	指導	齊藤　隆志	ｻｲﾄｳ ﾀｶｼ	体育科学学位プログラム（スポーツマネジメントコース） 体育実践学学位プログラム（スポーツマネジメントコース）		479-7385	tsaito@nittai.ac.jp
	指導	齋藤　義信	ｻｲﾄｳ ﾖｼﾉﾌﾞ	体育科学学位プログラム（スポーツマネジメントコース） 体育実践学学位プログラム（スポーツマネジメントコース）		479-6516	ysaito@nittai.ac.jp
	指導	佐野　昌行	ｻﾉ ﾏｻﾕｷ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース） 体育科学学位プログラム（スポーツマネジメントコース） 体育実践学学位プログラム（スポーツマネジメントコース）		479-7596	msano@nittai.ac.jp
	指導	佐良土　茂樹	ｻﾛｳﾄﾞ ｼｹﾞｷ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0943		sarodo@nittai.ac.jp

	教員資格	氏　名	フリガナ	所属学位プログラム	東京・世田谷キャンパス	横浜・健志台キャンパス	メールアドレス
さ	指導	三瓶　舞紀子	ｻﾝﾍﾟｲ ﾏｷｺ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0916		sampei@nittai.ac.jp
	指導	鹿野　晶子	ｼｶﾉ ｱｷｺ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0950		shikano.a@nittai.ac.jp
	指導	白旗　和也	ｼﾗﾊﾀ ｶｽﾞﾔ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-1495		shirahata@nittai.ac.jp
	指導	杉田　正明	ｽｷﾞﾀ ﾏｻｱｷ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-1148		m-sugita@nittai.ac.jp
	指導	鈴川　一宏	ｽｽﾞｶﾜ ｶｽﾞﾋﾛ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0972		suzukawa@nittai.ac.jp
	指導	須永　美歌子	ｽﾅｶﾞ ﾐｶｺ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） 体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-1360		sunaga@nittai.ac.jp
	指導	関根　正美	ｾｷﾈ ﾏｻﾐ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-0935		msekine@nittai.ac.jp
た	指導	髙井　秀明	ﾀｶｲ ﾋﾃﾞｱｷ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0863		takai@nittai.ac.jp
	指導	田中　信行	ﾀﾅｶ ﾉﾌﾞﾕｷ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース） 体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-1271		n2tanaka@nittai.ac.jp
	指導	田村　優樹	ﾀﾑﾗ ﾕｳｷ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0933		y-tamura@nittai.ac.jp
	（補助）	津田　博子	ﾂﾀﾞ ﾋﾛｺ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0934	963-7921	tsuda@nittai.ac.jp
	指導	津山　薫	ﾂﾔﾏ ｶｵﾙ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）		963-7939	tsuyamak@nittai.ac.jp
	指導	寺岡　英晋	ﾃﾗｵｶ ｴｲｼﾝ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-0975		eishin.teraoka@nittai.ac.jp
な	指導	中里　浩一	ﾅｶｻﾞﾄ ｺｳｲﾁ	体育科学学位プログラム（健康スポーツ医科学コース）	5706-0821	507-1644	nakazato@nittai.ac.jp
	指導	南部　さおり	ﾅﾝﾌﾞ ｻｵﾘ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0945		nambu3@nittai.ac.jp
	指導	西山　哲成	ﾆｼﾔﾏ ﾃﾂﾅﾘ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース） コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム		963-7994	nishiyama@nittai.ac.jp
	（補助）	根本　研	ﾈﾓﾄ ｹﾝ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0928		nemoto@nittai.ac.jp
	指導	野井　真吾	ﾉｲ ｼﾝｺﾞ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）	5706-1543		nois@nittai.ac.jp
は	（補助）	畠田　好章	ﾊﾀｹﾀﾞ ﾖｼｱｷ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-1036	963-7923	hatakeda@nittai.ac.jp
	指導	波多腰　克晃	ﾊﾀｺｼ ｶﾂｱｷ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-1473		hatakoshi@nittai.ac.jp
	（補助）	馬場　進一郎	ﾊﾞﾊﾞ ｼﾝｲﾁﾛｳ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）		479-6960	baba@nittai.ac.jp
	指導	日比野　幹生	ﾋﾋﾞﾉ ﾐｷｵ	体育科学学位プログラム（スポーツマネジメントコース） 体育実践学学位プログラム（スポーツマネジメントコース）		479-8061	hibino@nittai.ac.jp
	指導	黄　仁官	ﾌｧﾝ ｲﾝｶﾝ	体育科学学位プログラム（トレーニング科学コース）		963-7943	hwang@nittai.ac.jp
ま	（補助） 指導	三宅　良輔	ﾐﾔｹ ﾘｮｳｽｹ	体育科学学位プログラム（身体教育・健康教育コース） 体育実践学学位プログラム（身体教育・健康教育コース）		963-7997	miyake@nittai.ac.jp
や	（補助）	山本　洋祐	ﾔﾏﾓﾄ ﾖｳｽｹ	コーチング科学学位プログラム コーチング実践学学位プログラム	5706-0954		yamamoto_judo@nittai.ac.jp
	（補助）	横田　匡俊	ﾖｺﾀ ﾏｻﾄｼ	体育科学学位プログラム（スポーツマネジメントコース） 体育実践学学位プログラム（スポーツマネジメントコース）		479-7696	m-yokota@nittai.ac.jp
	指導	依田　充代	ﾖﾀﾞ ﾐﾂﾖ	体育科学学位プログラム（体育スポーツ文化社会学コース）	5706-0944	479-8186	3.yoda@nittai.ac.jp